

大学院医学研究科 看護学専攻

看護生命科学分野 (博士前期課程)

生命科学研究分野 (博士後期課程)

看護学トランスレーショナルリサーチ (基礎から臨床への橋渡し研究) の専門教育を介して、基礎と臨床をつないだ「本質的」な看護を届けます



患者の生活に関連した  
基礎科学の理論が  
包括的に学べる



ラボ (実験環境) で  
実際に手を動かして  
仮説を検証できる



臨床での症状への  
理解や処置に対する  
判断に生かせる



横浜市立大学大学院医学研究科  
看護生命科学分野 / 生命科学研究分野  
教授：赤瀬智子

〒236-0004

神奈川県横浜市金沢区福浦3-9

Tel.: 045-787-2743

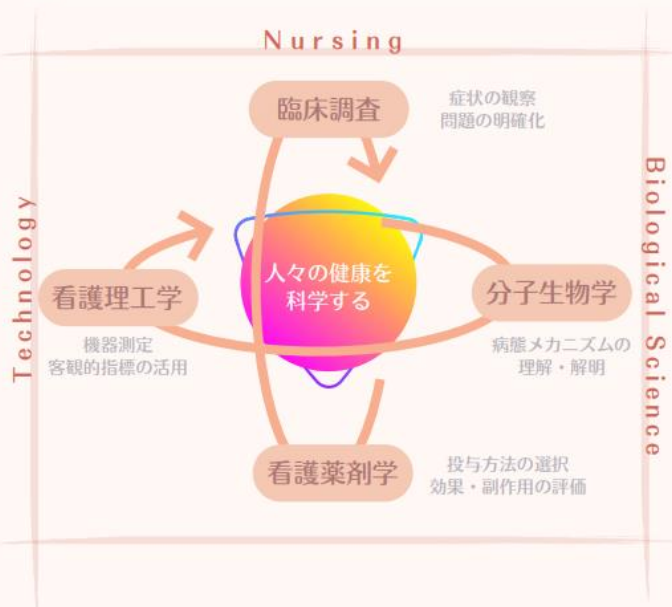
Fax: 045-787-2743

E-mail: akase@yokohama-cu.ac.jp



# 看護生命科学とは .....

人々の健康問題に対し、病態メカニズムから、科学的根拠ある看護ケアを追究できる看護学トランスレーショナルリサーチの専門人材を輩出します。看護学の基盤となる基礎医学・薬学などの知識や技術から、多職種研究者と議論し、看護を可視化し、臨床問題の解決と新しい看護の創造を目指します。



私たちは、基礎と臨床の双方向から患者さんの健康上の問題を捉え、明確化し、追究し、その看護研究の成果を必ず患者さんへ、また、社会へ還元していくことが重要であると考えています。そのために、問題の明確化のための臨床調査の実施、分子生物学・看護理工学・看護薬剤学のアプローチを用い、細胞実験・動物実験や生理機能測定などからケアや客観的指標を確立し、問題解決と新しい看護の創造を目指します。



医学研究科 看護生命科学分野・生命科学研究分野  
教授 赤瀬智子

## YCUならではの研究環境 .....

基礎医学・薬学などの研究に必要な高度実験機器や設備を利用して、実際に手を動かし、臨床で生まれたリサーチクエスションの解明を行うことができます。また、多くの生理学的機能を捉える測定機器を用いて、人々の健康の予防や評価に対する指標を見出して医療現場や社会に還元していきます。皮膚トラブル、肥満・糖尿病、周術期の身体管理、薬物管理を得意としています。



### ● 使用可能・扱える生理学的な測定機器

皮膚生理機能に関する測定機器（水分、TEWL、皮脂、色素、真皮エコー）、エコー、呼吸機能測定、自律神経測定、アイトラッカー、体脂肪測定、筋力測定、血管透過装置など

### ● 研究実績

- 適切な疼痛管理に対する研究
- 薬剤による血管痛の対するケアの研究
- 皮膚バリア機能の改善に対するケアの研究
- 肥満者の創傷治癒改善に対するケアの研究
- 体格を考慮した薬剤投与量調整に関する研究
- 術中患者の心理状態に対する自律神経指標の評価
- 術中低体温予防に関連する因子の探索
- 光イメージング技術による皮膚バリア機能の測定
- マスク換気時の換気量・圧力分布に与える影響
- アロマオイルの経皮吸収効果の検証など

応募を希望される方は  
研究室HPより  
お問い合わせください

